

# 「ランドスケープ再生を通じた震災復興」

(基調とする提言：平成23年4月16日理事会承認)

(社) 日本造園学会

社団法人日本造園学会は、「ランドスケープ再生を通じた震災復興」を掲げ、東日本大震災の被災地における活力ある地域コミュニティの回復と自然と共生した暮らしを支えるまちづくり、そしてその動きを新たな国土づくりにつなげていくことを目指し、以下を提言いたします。

## 1. まちの防災・減災および持続的発展の観点からの復興まちづくりの推進

- (1) 被災地域の豊かな自然の立地特性を踏まえた復興まちづくり
- (2) 避難路・避難地及び復旧・復興の拠点（地域防災拠点）としての緑とオープンスペースの計画的な配置と活用のためのインフラ整備
- (3) 人々の心をつなぐ緑と花によるグリーン・ケア・プロジェクトの推進と被災者の心のケアに資するレクリエーション空間の提供
- (4) ガレキの分別と適正な素材の活用、土壌・植栽基盤の整備による「防災人工丘公園」の建設
- (5) 市街地からの土地利用転換を余儀なくされた場所の自然再生を通じたランドスケープの創造
- (6) 植栽基盤の調査・分析等を通じた緑の再生への技術的支援
- (7) 大規模造成地における震災被害の診断と土地利用の再検討
- (8) 津波の経験の継承・学習の場の整備と、防災システムへの対応

## 2. 里山・里地・里海の連環を重視した復興まちづくりの推進

- (1) 森・里・海の連環からなる小流域を基本単位とした復興まちづくり
- (2) 環境負荷を軽減する里山・里地・里海の保全と、農林漁業との連携を通じた生業の礎を構築する復興まちづくり
- (3) 地域コミュニティ(ふるさと)復興シンボルとしての文化的景観の再生
- (4) 海外や大都市との連携・交流を深めることによる地域社会・経済の活性化
- (5) “三陸”海岸国立公園への拡張など自然公園の再編成ならびに整備の推進と、観光・レクリエーションの振興
- (6) いわて三陸ジオパークなど、各地域の取組みへの積極的支援

## 3. 新しい国土づくりにつながるランドスケープの再生

- (1) 地域の実情に即し、少子高齢化や過疎化の進行を見据えた長期的視野での地域再建プランの支援
- (2) 生物多様性保全から得られる生態系サービスの最適化を図った国土の持続的発展
- (3) 震災により変化した自然環境の把握・観察とその適切な再生
- (4) 農山漁村における、自立・分散・ネットワーク型の地域づくりの推進
- (5) 農林水産業の産業としての抜本的な見直しによる、地域の経済基盤の強化と、暮らしを含めた文化としての生業の再構築
- (6) 工学技術的な対策とともに、防災林の植栽等をはじめとする自然(地形・森林等)との賢いつきあい方の再構築
- (7) 脆弱な土地環境や風の道などの積極的な緑地化など、環境インフラの構築によるレジリエンスの強化
- (8) 都市のコンパクト化による中心市街地の再生と、スプロールした郊外部の緑地化の推進
- (9) 冷涼地での夏場の長期滞在の促進など、観光振興による地域づくりを通じた省エネルギーの国土全体での推進